

THE 市町支援通信

～三重県に生まれ育つすべての子どもに途切れのない支援を～

子ども心身発達医療センターは、途切れのない支援システムの構築を推進しています。

三重県に生まれ育つすべての子どもの発達保障・子育て支援をめざし、子ども心身発達医療センターは多くの市町と共働しながら、以下の取り組みを進めています。

- ①発達総合支援室（保健・福祉・教育の一元化室）・機能の設置
- ②「CLM（チェック・リスト・in 三重）と個別の指導計画」による保育所・幼稚園での早期発見・支援

* 「CLMと個別の指導計画」は、子どもの育ちを見極め、適切な支援を行うためのツールです。

- ③みえ発達障がい支援システムアドバイザーの育成支援

平成 29 年度 実践報告会 特集

平成 29 年 11 月 12 日、250 人以上の方々のご参加を得て、三重県男女共同参画センターフレんてみえ多目的ホールで行いました「CLMと個別の指導計画」平成 29 年度実践報告会の模様をご報告します。

開会に当たり稲垣清文三重県副知事からのご挨拶です。

<要旨>

本日は、『CLMと個別の指導計画』平成 29 年度実践報告会」に、県内、県外から多数の方々にご参加いただき、誠にありがとうございます。また、皆様におかれては、子どもたちへのサポートに向けて日々尽力されており、改めて敬意を表するとともに、感謝申し上げます。さて、県では本年 6 月新たに「子ども心身発達医療センター」を開設いたしました。新センターでは、良質で高度な医療・福祉サービスの提供はもとより、発達支援の総合拠点として、市町をはじめ地域への支援を強化していきたいと考えています。

その中において、「CLMと個別の指導計画」は、発達に課題のある「気になる子」が、保育所・幼稚園など初めての集団生活の場で困難さを感じることなく過ごすことができるよう開発された三重県オリジナルの支援ツールであり、今回、国の保育所保育指針改定にこの考え方を取り入れていただいたところです。

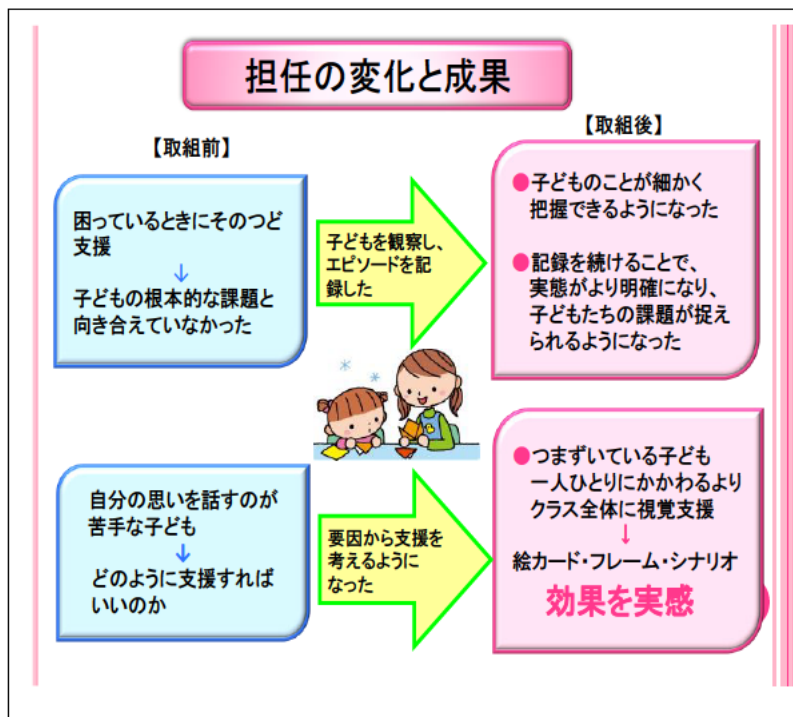
県では「発達支援が必要な子どもへの対応」に対する重点的な取組の中で「CLMと個別の指導計画」導入の割合を数値目標に定め、市町や関係機関と連携しながらツールの普及・活用を進めています。また、このツールは、保育士や幼稚園教諭の人材育成やスキルアップにもつながり、県内だけでなく、広く県外でも活用いただき、本日の「実践報告会」は、「CLMと個別の指導計画」に取り組んでいる、さまざまな関係者が実践事例を通じて具体的な支援方法や効果などの情報交換を行い、お互いが刺激を受けあい切磋琢磨する重要な機会と考えています。

ぜひ、本日の報告を参考とし、それぞれの現場で実践に活かしていただければ幸いです。



伊勢市

簡単なところから始めよう！



●折り紙やお絵かきなど、一人で遊ぶことが多く、自分の思いを言葉で表現することが苦手だったAさんが、絵と文字のカードやお話のフレーム、個別練習などの支援を受け、繰り返し行うことで、みんなの前で発表することができ、このパターンを他の場面でも活かし友達と一緒に遊んだりできるまで成長した事例です。

また、小学校に生活面や学習面の引継を行い、担任の先生や校長先生が良く理解され、Aちゃんに安心した環境を提供しています。

高山市

スモールステップで意外と簡単！目標づくり

「CLMと個別の指導計画」に取り組んで

☆今まで**自発的・主体的な子どもの姿**を願って保育していたので、「CLMと個別の指導計画」による**手厚い支援**や**スモールステップ**に戸惑いを感じていた。しかし、実践してみると、対象児だけでなく、**クラスの子どもの成長**が見られた。

☆子どもは、担任の**わかりやすい支援**によって、**理解**でき、**自信**を持つことができる。そのような体験を通して、**主体的に動ける姿**へとつながっていくことがわかった。

☆「CLMと個別の指導計画」に取り組むことが、子どもの**確実な成長**や担任の**保育力の向上**につながり、目指す保育の最大の**近道**である。

☆子どもの苦手なところを支援し、得意なところを伸ばすことができ、**子どもとの信頼関係**、**親との信頼関係を築ける**。



●ルールのない家庭とルールのある保育園の過ごし方に戸惑っていたA君に、クラス環境を整え、ロールプレイで具体的な行動を示し、興味のあるグッズ、OKゲーサインでほめることで、担任と意思の疎通を図ることができ、クラス全体への波及効果も得られた事例です。

目標が達成できるようになったら違う場所への応用も、期間を短く、成功できるスモールステップをテンポよく展開することで、次の目標も達成できました。また、具体的な提案をご家庭にお伝えでき、お母さんへの育児支援となりました。

志摩市

タイミングよい支援の引き算

支援の移り変わりとAさんの変容

	4歳（前期）	4歳（後期）	5歳（前期）
(1) 登園、降園の支度や給食の準備など一連の動作が途切れやすい	4	3	2
(2) 片づけができない	4	2	2
(8) どんな場面でもよく喋る	3	4	1
(13) あそびが次々と移っていく	4	2	1

動線を明確にする
視覚的な支援
活動後のお楽しみ
説明は短くする
活動の終わりを明確にする
介助員による働きかけ

90%支援

活動後のお楽しみや
視覚的な支援をなくす

支援のひき算

介助員による働きかけを
なくす

担任1人でも可能に!

●スモールステップの計画を立て、子どものやる気スイッチを入れ、計画作成後ロールプレイを行うことで、課題を整理し、達成でき定着したら、支援を引き算します。

また、全体の指示を出す担任と必要な時に個別に支援する介助員の具体的な役割を明確にすることで、過度の支援や刺激を減らし、子どもの成長を引出せた事例です。

スモールステップ支援と目標達成後の支援の引き算を使った「担任のための支援のシナリオ」で、子どもの成長を促しましょう。

津市

園では喋らないA君に大きな変化

「CLMと個別の指導計画」の 巡回指導に取り組んで

「CLMと個別の指導計画」は
どんな子にも有効!!

園では喋らない子に対し
の指導計画って??

スモールステップでの
計画を伝える!!

園全体での
取り組みが大切!!

・焦らずに関係づくりをする
・子どもの成長

喋るようになるんだ!!

●園舎の入ると全く言葉を発せず、集団活動に参加できないA君へのアプローチを、仲の良い友達を通して担任との関係を少しずつ高めることを発展させ、興味のあることを取り入れ、見通しを持った支援を行うことで、保育園が安心できる場所になった。集団活動への参加もでき、クラスのみんなもしゃべらないA君をクラスの一員として受け入れた成長を感じられる事例です。

年長児クラスに、この成果を引継ぎ、再度担任との関係ができた夏、A君は担任に話すようになりました。

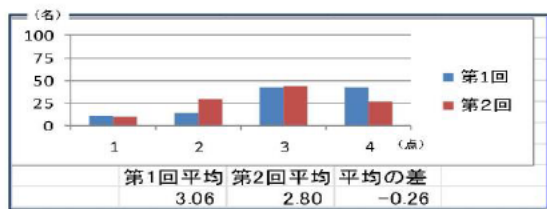
行政説明

「CLMと個別の指導計画」効果測定

課題

- 県内保育所・幼稚園・認定こども園における「CLMと個別の指導計画」の平成26年度導入率は33.1%
- 「みえ県民カビジョン・第二次行動計画」における平成31年度目標導入率は75%
- 平成29年度目標55%
(三重県戦略企画部企画課, 2016)

(2)片づけができない

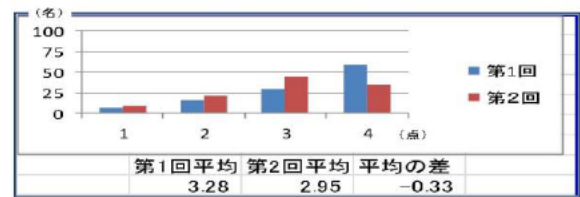


成功事例インタビューからの考察(1)

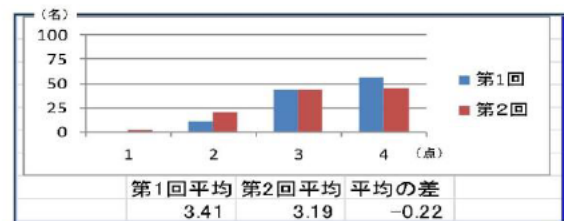
(1)(2)(3)が効果が出やすい要因

- 要因分析をもとに環境の整えができる
- 「こうすればよい」と子どもたちに手順やルールを明確に知らせることができる
- 成功体験することで保育者が子どもをほめる機会が増え、信頼関係を築く契機になる

(1)登園、降園の支度や給食の準備など一連の動作が途切れやすい



(3)先生の指示を聞いて行動できない



成功事例インタビューからの考察(2) 即効性の低い項目を改善するには

- (1)(2)(3)で達成しやすい目標を立て、成功体験を得る
- 成功体験から保育者が子どもを褒め、子どもと先生の信頼関係を構築する
- 信頼関係を足掛かりに、子どもの発達特性と関連の深い項目を(ステップ1目標、ステップ2目標と)「スモールステップ」で扱う

●副賞 (今年度は、2種類の指し棒です)



●センターからのお知らせ

平成30年4月からの初診受付は、平成29年12月1日9時から専用ダイヤルにて受け付けます。予約お申し込みの電話が集中すると予想されます。通話中の場合は、恐れ入りますが再度おかけ直してください。

予約専用ダイヤル：059-253-2020

平成29年(2017年)11月20日

<発行>三重県立子ども心身発達医療センター 発達総合支援部 地域支援課

〒514-0125 三重県津市大里窪田町 340 番 5

電話番号 059-253-2000(代) FAX 059-253-2029

MAIL: childc@pref.mie.jp URL: http://www.pref.mie.lg.jp/CHILDC/